

2017年12月配信【第72号】

名銀「アジアビジネスクラブ」

アジアクラブ通信

— CONTENTS (第72号) —

○ トピックス

「タイの進出企業数と銀行について」

○ 次号のトピックス予告

次回は、中国・南通からの現地情報をご紹介します

タイの進出企業数と銀行について

<タイの進出企業について>

タイには多くの日系企業が進出しております。日本貿易振興機構（ジェトロ）発表による「タイ日系企業進出動向調査 2017年」によると、タイにおいて企業活動が確認された企業数は5,444社となりました。2014年実施の前回調査から19.2%増加しています。業種別にみると、非製造業の進出数が製造業を上回りました。製造業では新たに199社が増加したのに対し、非製造業は629社が増加しました。特に卸売業（249社増加）やコンサルタント、会計事務所、職業紹介などの専門サービス業（60社増加）の進出が目立っています。自動車をはじめとする日系製造業の集積が進んできたタイですが、構成比でみるとすでに非製造業の割合（53.1%）が製造業の割合（43.1%）を上回っています。国内市場の縮小、グローバル化の進展に伴い、非製造業の進出が年々増加しております。また、あいち産業振興機構の「2016年における愛知県内企業の海外事業活動」によると、海外に進出する愛知県企業数は、2,566社（4,243拠点）となっています。国別の進出先では、中国の529社（1,174拠点）に次いで、タイは295社（438拠点）と2番目に多い進出企業数となっています。タイの拠点における業種割合は、製造業が65.8%、その中でも輸送機器が19.2%と一番多くなっています。これは、愛知県の自動車産業を中心とした産業構造の結果と考えられます。

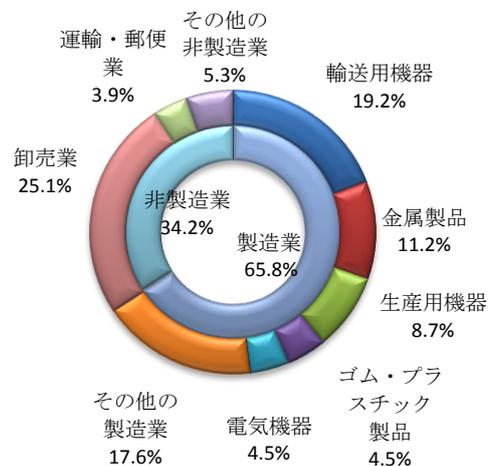
進出先・地域別企業数・拠点数

国・地域	企業数(社)	拠点数(件)	
		拠点数	構成比%
アジア	1,667	2,747	64.7
アセアン	787	1,116	26.3
中国	529	1,174	27.7
その他のアジア	351	457	10.8
オセアニア	49	81	1.9
ヨーロッパ	370	550	13.0
北米	276	588	13.9
アメリカ	239	532	12.5
中南米	145	200	4.7
中近東	33	38	0.9
アフリカ	26	39	0.9
総計	2,566	4,243	100.0

※現進出企業は790社であるが、1社で複数の国に進出している場合があるため、2,566社は延数である。

【表1：出所 あいち産業振興機構】

タイ拠点数438



【表2：出所 あいち産業振興機構】

タイについては、従業員の賃金上昇、品質管理の難しさ、競合相手の台頭（コスト面）などの要因により、一部に労働集約的な工場等を周辺国に拠点を移すタイププラスワンの動きも見られるようになってきました。しかしながら、他国に比べて産業集積が厚く、サプライチェーンの充実しているタイは、海外進出を検討している日系企業にとって現在も重要な拠点といえます。

<タイの銀行について>

タイに進出する企業は、運転資金等の資金調達、現地社員に対する給与振込、海外送金、現地の情報収集などの為に、タイ国内で銀行取引を行っています。利用する銀行は様々となりますが、多くはタイ地場銀行か日系銀行（メガバンク）との取引となります。これらの銀行を把握することは、タイで事業を展開するうえで重要であると考えます。今回は、名古屋銀行のお客様も数多く進出するタイにおける銀行についてご紹介したいと思います。

2017年8月現在、タイで登記されている商業銀行（現地法人を含む）は19行あり、フルブランチ機能を持つ外国銀行は11行あります。【表3】はタイ地場銀行総資産額上位7行について記載しております。この中には、バンコック銀行など日系企業対応部署を設けている銀行があります。日系銀行（メガバンク）については、2013年にBTMUがアユタヤ銀行を買収しております。三井住友信託銀行は2014年に泰国三井住友信託銀行を設立しました。三井住友銀行はバンコック支店、チョンブリ出張所を設けており、みずほ銀行は、バンコック支店、バンコック支店イースタンシーボード出張所を設け、様々なサービスを提供しています。

	銀行名	略称	総資産額	融資残高	預金残高	支店数
1	バンコック銀行	BBL	2,979	1,766	2,263	1,164
2	クルンタイ銀行	KTB	2,669	1,715	1,985	1,144
3	サイアム商業銀行	SCB	2,686	1,883	2,009	1,170
4	カシコン銀行	Kbank	2,487	1,626	1,851	1,050
5	アユタヤ銀行	BAY	1,818	1,330	1,130	660
6	タナチャート銀行	Tbank	941	636	714	534
7	TMB銀行	TMB	863	591	607	440

【表3：タイ地場銀行総資産額上位7行（2017年8月現在） 参考：BOT】（単位：10億バーツ）

<まとめ>

日系企業の進出先として高い注目を集めるタイ。上記でご紹介した通りタイに進出する日系企業数は5,444社にのぼります。銀行取引については、お客様の状況によって様々となりますが、銀行内容を把握したうえで、取引する銀行を選ぶことは重要であると考えます。日系企業対応部署があることはサポート面において重要です。また、利便性、地域ごとの情報収集力など、支店数は銀行取引をする一つの理由となるのではないのでしょうか。タイ銀行について筆者も動向を注視していきます。

名古屋銀行 法人営業部 タイ駐在
園田祐也

【参考】

- Bank of Thailand <https://www.bot.or.th/English/Pages/default.aspx>
- JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2017/01/762117c2abed4a1c.html>
- あいち産業振興機構 <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ricchitsusho/0000085973.html>

名古屋銀行の中国拠点

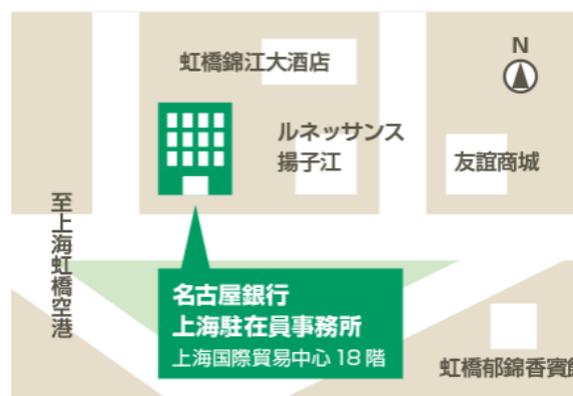
■ 南通支店

中国江蘇省南通市経済技術開発区
通盛大道 188 号 創業外包服務中心C楼
2F
TEL: <86>513-8919-2280
FAX: <86>513-8919-2281



■ 上海駐在員事務所

中国上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 1809 号室(18階)
TEL: <86>21-6275-4207
FAX: <86>21-6275-9461



<ご注意>

- 法律上、会計上の助言: 本誌記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。
- 法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。
- 秘密保持: 本誌記載の情報の貴社への開示は貴社の守秘義務を前提とするものです。当該情報については貴社内部の利用に限定され、その内容の第三者への開示は禁止されています。
- 免責: 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。
- 著作権: 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複製、複製。引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。

【事務局】 名古屋銀行 法人営業部 国際ビジネス推進室

TEL: 052-962-9522 FAX: 052-962-6043